



軽費 / 特養 / 高齢者在宅サービスセンター / サービス付き高齢者向け住宅 / ケアハウス / グループホーム / 小規模多機能 / 看護小規模多機能

No. 347号

2019年(令和元年)9月

〒190-0022 東京都立川市錦町6-28-15 TEL 042-527-0031(代) FAX. 527-2646
発行人：旭 博之 編集：広報委員会
ホームページ：http://www.shisei.or.jp/ Eメール：shisei-home@shisei.or.jp

Shisei Senior Service Center

認知症施策推進大綱と介護について

～至誠福祉セミナー講義より～

日本社会事業大学

教授 下垣 光



令和元年6月に、国よりこれからの認知症施策のあり方を示す「**認知症施策推進大綱**」が出されました。

認知症は原因疾患によって、認知機能の持続的な低下が生じ、そこから自信の喪失や活動性の低下等心理面の問題が起きます。認知症からくる行動や症状の出現は個人差が大きく、画一的な対応方法はないとともに、周囲の人からは「問題行動」を起す人とみなされやすく、社会的活動が制限され、日常生活に支障をきたします。

平成元年以前には『恍惚の人』（有吉佐和子著）の影響もあり、社会の認知症に対する認識は広がりしましたが、専門的な支援スキルは未確立で、老人医療無料化により老人病院が増加し、認知症高齢者の社会的入院が増え、身体拘束や行動制限、向精神薬による過鎮静という対応が行われていました。

1984(昭和59)年に厚生省が「痴呆性老人処遇技術研修事業」を始め、看護・治療から認知症高齢者の理解

と援助(ケア)という視点へ転換し、受容と傾聴によりその人の気持ちに寄り添う、心理的理解にもとづくケアを目指すようになりました。効率重視から当事者の生活リズムを尊重して、施設環境を変える考え方により、介護保険開始後のグループホームやユニットケアに発展しました。

平成12年の介護保険制度の開始後も、要介護認定者の増加、在宅サービスの脆弱性等の課題があり、要介護高齢者の相当部分が認知症高齢者であり、身体ケアのみではなく、認知症高齢者に対応したケアを高齢者介護の標準とするべきという考え方も示されました。

生活そのものをケアとして組み立て、小規模な生活空間・住み慣れた

地域での生活の継続が重要であると捉え、「箱モノ」を整えるだけではなく、事業者や従事者のケアの専門性と資質が問われるようになりました。また、施設サービスの限界が明確になり、家族や地域の力がクローズアップされ、家族を支える地域の仕組みを作る必要性が高まりました。

平成15年頃から、認知症高齢者の増加に伴い、方向転換がみられ、グループホームなどの入所サービスを充実するとともに、在宅での生活の継続を目指すために、早期受診により重度化を回避していくことを強化するようになりました。認知症初期支援チームや認知症支援推進委員が制度化され、地域包括ケアシステムにより、認知症になっても地域で生活していくことのできる地域作りが進められました。

平成25年にはオレンジプラン(認知症施策推進5か年計画)が出され、認知症になった時に地域の中でどんな社会資源やサービスが利用できるのかを示したケアパスの整備、早期診断や早期治療を実現するため医療サービスの構築、地域への普及啓発のための認知症サポーター養成講座の推進、若年性認知症への支援を積極的に行うこと等が取り上げられました。

新オレンジプランになると、普及啓発の推進、医療・介護の連携、若



年性認知症施策の強化、予防・治療のための研究開発、介護者への支援等が掲げられ、認知症の人の意思を尊重し、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができることができる社会的の実現を目指しています。

昨年10月頃より「**認知症施策推進大綱**」の策定へと動き、認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望をもって日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」が施策の両輪とされています。認知症バリアフリーの促進や予防法の研究の促進等とともに、認知症高齢者の意見を取り入れる本人発信の支援も柱としています。

認知症施策の中で、ソーシャルワークをどのように展開していくのかについて、**マクロ**（政策・社会・メゾ（地域・職種の連携）、**ミクロ**（直接的な対応・ケアワーク）の関連性で考えてみましょう。

マクロ・メゾレベルの課題は、認知症の人の数の増加に伴う介護人材の量的な不足に対して、市区町村の計画策定の必要性や、認知症高齢者に対しての社会の「受け入れ」の不足さが挙げられます。

ミクロレベルの課題は、認知症の人の意志を尊重したケアを進め、社会的孤立を防ぎ、介護者への支援を行うことが求められています。当事

者の意見を取り入れ、その人のストレングス（強み・できること）にも着目し、個人差や日々の状態の変化も含め、常にアセスメントし、チームの中での確かなケアに繋げる必要があります。また、家族やかかりつけ医等医療体制を含めた支援環境を整えることも重要です。

これらの取り組みは、区市町村の福祉計画等を含め、強化していくことが求められています。ソーシャルワーク実践は、ミクロ・メゾ・マクロを結び付け、認知症施策を展開していく力です。ミクロの視点と支援環境整備や本人の意志の尊重とを理解した福祉の専門家の活動がマクロの政策をどう実現させていくのかということとです。ソーシャルワークの実践は地域に反映され、変える力となります。今後も至誠学舎立川の実践の活躍に期待しています。



セミナーの発表者

第17回 至誠福祉セミナー開催される

今年例年になく遅い梅雨明けで、暑さが続くなか、7月26日(金)午後6時30分より立川市女性総合センター(アイム)1階ホールにて、「第17回至誠福祉セミナー」が開催されました。

この至誠福祉セミナーは、児童・保育・高齢と異なる分野の課題について、職員が実践の科学化を目指した取り組みを、法人全体の研修の場において発表し、それぞれの現場で取り組む福祉活動の層の深化と職員同士の研鑽を意図し、専門家からの助言を受けて職員が更に成長する場としています。

今年の内容は、次の通りでした。

【講義】

「認知症施策推進大綱と介護」

日本社会事業大学 下垣 光 教授

【児童事業本部】

「修繕力を向上させるために」

至誠大地の家

ケアワーカー 磯沼国弘

看護師 伊東やよい

心理職 北村文菜

【保育事業本部】

「ITCを活用した業務効率化・省力化」

至誠いしだ保育園 園長 高橋智宏

保育士 小樽秀明

【高齢事業本部】

「フットケアで快足生活」

至誠ホーム

ケアワーカー 中島雅人・石垣健太郎

理学療法士 栗原石京

看護師 鷹取鈴貴

【講評】

日本社会事業大学 下垣 光 教授

今年度のセミナーは構成を少し変えて、始めに日本社会事業大学下垣教授に、日本の認知症の施策を中心に講義いただく内容としました。(詳しくは1～2ページで紹介しています)

第二部で例年通り、3事業本部の代表による発表がおこなわれました。講評を一部に続き下垣教授からコメントをいただきました。

①チーム力で考え方が固定化・マンネリ化し易い中、新しい取り組みで挑戦していった内容でした。②組織マネジメントで一つひとつの事業所の力をまとめる取り組みでした。③目で見える実践で介護予防的視点から成果としてQOL向上・生活生活全般がどう変わるかにもつながる取り組みでした。

最後は、法人の研修委員長である高齢事業本部長の旭博之ホーム長より閉会の挨拶があり、総勢142名が参加した今年の至誠福祉セミナーが終了しました。



至誠ホームは **長寿の里** 上寿・白寿・米寿・喜寿の皆様 おめでとうございます



竹下かず子さん

(至誠ホームアウリンコ) 101歳

101歳となりいつまでも元気なかず子さん。職員に対し「いつも大変ね。私も昔同じ仕事をしてたからわかる」と温かい言葉をかけて下さり、また素敵な笑顔でフロアを和ませています。これからも元気な笑顔をたくさん見せて下さい。



平澤 ヨキさん

(至誠特別特養老人ホーム) 102歳

今年102歳を迎えられました。長生きの秘訣は「食事だね!」と明るくお話して下さりました。これからも平澤さんらしく元気にお過ごしください。



千葉 浩子さん

(至誠ホームアウリンコ) 104歳

104歳とは思えない程お元気に本を読んだり、皆さんと談笑して過ごされています。長寿の秘訣はなんですかと何うと「ゆっくりのんびり過ごすことです」とお言葉を頂きました。これからもお元気で過ごしてください。



綾田スエ子さん

(至誠ホームオンニ) 105歳

綾田さんは至誠ホームオンニで最年長(105歳)となりますが、いつも元気に笑顔で職員や他利用者の方々にお言葉を掛けて下さいます。これからも元気でオンニ(幸せ)な毎日をお過ごし下さい。



河合弥江子さん

(至誠ホームキートス) 100歳

キートス2階すずらんの家にお住まいの河合弥江子さん。今年の3月に100歳を迎えられました。100歳になってもご自分のことはご自分で行ない、いつでも他者への感謝を忘れません。これからも笑顔で過ごしていきましょう!

大石 健雄さん

(至誠ホームミンナ) 101歳

101歳を迎えられた大石さん。民謡を歌ったり、立ち上がり踊って下さるチャーミングな一面をお持ちであり、ラグビーで鍛えられた大きな背中にとっても頼もしさを感じています。これからもお元気に過ごしてください。

(ご本人の希望により、写真掲載はしておりません)



寺尾 類子さん

(至誠ホームミンナ) 101歳

101歳を迎えられた寺尾さん。手先が器用で、フロアの入居者様が使用する箱をチラシで作ったり、縫い物や畳み物を手伝って下さいます。いつもありがとうございます。これからもお元気で過ごして下さい。



小山 宣雄さん

(至誠ホームミンナ) 101歳

101歳を迎えられた小山さん。若い頃は零戦の設計者とのことで、よくお話を聞かせて下さいます。また食べることも大好きで、毎日残さずお食事を召し上がっています。長寿の秘訣だそうですね。これからも変わらずお元気に過ごして下さい。



蔵田 郁枝さん

(至誠和光ホーム) 100歳

入居して14年の歳月が流れ、間もなく101才を迎えようとしています。私にとってのホームはオアシスとも云うべき居心地の良い場所となり、日々の幸せを感謝しております。



林 幸さん

(至誠特別特養老人ホーム) 99歳

今年は99歳の白寿です。9月26日には100歳のお誕生日を迎えられます。いつもニコニコと笑顔が素敵な林さん。これからもその笑顔で、周りの人々を癒してくださいね!

- ▼ 米寿(八十八歳)
- 至誠特別養護 老人ホーム
- 新井 鈴子さん
- 小林 猛さん
- 須永喜美子さん
- 平 照さん
- 春原 義彦さん
- 須田 侃さん
- ▼ 至誠ホーム
- アウリンコ
- 宮崎 正雄さん
- 宮崎 みね子さん
- 宮本 静枝さん
- 八木 八重子さん
- 小川 静枝さん
- 谷口 雅子さん
- 小松 葉子さん
- ▼ 至誠和光ホーム
- 古林 昌子さん

- ▼ 至誠ホームスオミ
- ケアハウス
- 水越 栄子さん
- 前中 光雄さん
- 水田 康子さん
- 濱崎 裕子さん
- ▼ 至誠ホームスオミ
- グループホーム
- 鈴木 時子さん
- 林 則子さん
- ▼ 至誠ホームオンニ
- 米山 映子さん
- ▼ 至誠調布若葉
- ケアセンター
- 温井 浪子さん
- 加藤 玲子さん
- 中西 孝さん
- ▼ 至誠キートスホーム
- 二宮 照子さん
- ▼ 至誠ホームミンナ
- 細川 保子さん

- ▼ 喜寿(七十七歳)
- 至誠ホーム
- アウリンコ
- 松下 澄子さん
- 隠岐 シゲ子さん
- 石川 久子さん
- ▼ 至誠和光ホーム
- 綿引 紀子さん
- 古西 光代さん
- ▼ 至誠ホームせせらぎ
- 吉田 千鶴子さん
- ▼ 至誠ホームオンニ
- 中西 正子さん
- ▼ 至誠調布若葉
- ケアセンター
- 木本 登美子さん
- 柴崎 弘二さん
- ▼ 至誠キートスホーム
- 宮下 春子さん
- 飛田 一乃さん

至誠ホーム納涼祭

今年も賑やかに開催される

至誠ホーム 錦町



8月2日(金)、至誠ホーム恒例の納涼大会が開催されました。昨年に引き続き、錦六会よりやぐらをお借りし、運営

には多くのボランティアさんの協力をいただきました。

18時、鼓友会の太鼓の音で納涼大会の始まりを告げ、至誠さわやかコーラスの皆さんがこの日の為に練習をした歌声を披露して下さいました。またやぐらのまわりでは錦六会、竹俵会の皆様、地域の皆様、そして利用者のご家族が楽しそうに踊られていました。

後半では、錦六会お囃子部の方々が伝統芸能をご披露下さり、花火では打ち上がる度に歓声が上がリ、皆さん納涼大会を堪能されていきました。天候にも恵まれ、無事に終わることができ、感謝して

おります。地域の皆様、ボランティアの皆様、ご協力ありがとうございました。(至誠特別養護老人ホーム第二介護)

鈴木 裕也

至誠ホームキートス

今年で19回目の「キートスマツリ」を7月6日(土)に開催しました。開設記念と、地域で支援していただいている方々への感謝を込めて開催しています。

入居者やご家族の皆さん、ボランティアさん、キートス・柏デイサービスの利用者さん、近隣の皆様と、多くの方々に参加され楽しく賑やかに催しました。

アトラクションではマッハケンジ(男女ペアユニット)による歌と演奏でし



た。マッハさんの参加型ステージで、会場の一体感を感じお楽しみいただけただけです。多くの

ボランティアさんやご家族の皆様の御協力と御支援で開催ができましたこと、感謝しております。どうもありがとうございました。

(至誠ホームキートス 土方素史)

至誠ホームミナ

8月9日(金)、11回目の「至誠ホームミナ納涼祭」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、入居者・利用者の皆さんをはじめ、地域の老人会や親子連れまで、150名を超える方々が集う活気溢れるお祭りとなりました。

風情ある盆踊りや模擬店をはじめ、旭ホーム長率いるアミーゴ・デ・ミナナのバンド演奏や国立音大生さんによる素敵な歌声等イベントも充実し、参加者皆さんが一体となって楽しまれていました。

また、着付けや模擬店応援等のボランティアさん達のご協力もいただき、改めてミナが地域に密着した施設であることを実感しました。

ご協力下さった皆様に心より感謝申し上げます。有難うございました。

(至誠ホームミナ特養ホーム 根本昂大)



至誠ホーム調布若葉

調布若葉ケアセンターの夏祭りは7月24日(水)に開催しました。夏祭りでは盆踊りを行い、太鼓を叩いて下さる方、前に出て踊って下さる方、座って踊りながら歌って下さる方等、ご利用者それぞれの参加の仕方でも楽しまれてとても盛り上がりました。

その後はヨーヨー釣りや輪投げのゲームコーナーにも参加されてとても楽しまれていました。

お祭りの半ばには、近隣の学童クラブの子供達も参加して下さい、皆さんと共に夏祭りを楽しまれて、地域との交流を深めることができました。今年も多くの方々のご協力で、とても盛り上がった夏祭りを開催することが出来ました。ご協力ありがとうございました。

(調布若葉ケアセンター 高橋裕志)





介護報酬改定について

至誠ホームキートス
園長 大友正樹

この10月より介護保険の報酬改定が行われます。消費税率の引上げに伴うものですが、併せて「特定処遇改善加算」が導入されます。

まず、消費税に伴う改定についてです。介護保険サービス自体は消費税非課税ですが、増税により、事業者がサービスを提供する際に必要となる費用も増加します。その増加分を介護報酬に反映させるものと言えます。

また、施設サービス等の食費・居住費については、所得の低い方には負担限度額を設け、平均的に掛かる費用として定められた額（Ⅱ基準費用額）との差額を保険給付（Ⅱ補足給付）で補う形になっています。今回、増税分を加味してこの基準費用額が引き上げられます。一方、利用者の負担限度額は据え置かれますので、補足給付の額の引上げで差額分が補われます。

これらの改定に加え、今回注目されるのが先述の「介護職員等特定処遇改善加算」の創設です。一定の要件を満たした事業所に対し、現行の「介護職員処遇改善加算」に上乗せして支払われます。

「介護離職ゼロ」の実現のために、不足している介護人材の確保・定着のため「介護サービス事業所における勤続年数10年以上の介護福祉士について月額平均

8万円相当の処遇改善を行う」ことを算定根拠とした報酬改定を行うとした『新しい経済政策パッケージ』（平成29年12月閣議決定）の施策が具体化されたものと解されます。

加算額は、各事業所の介護報酬に、各サービスごとに定められた加算率を乗じた額となります。加算率はサービスの種別により異なります。算定する事業者が多いと予想される「特定処遇改善加算Ⅱ」の場合、最も低い通所介護等の1.0%から最も高率の訪問介護等の4.2%の間で決められています。

職員への配分の仕方は一定のルールの範囲内で事業者に任されています。具体的には、職員をA「経験・技能のある介護職員」・B「他の介護職員」・C「その他の職種」の3グループに分け、対象を「Aのみ」「AとB」「ABCすべて」のいずれかの組み合わせの中から事業者が決められます。

介護職員の処遇改善のために介護報酬が加算されることは、働く介護職員にとっても、また、職員の処遇改善を図りたい事業者にとっても、もとより歓迎すべきことです。ただ、残念ながら、この加算で『政策パッケージ』の数字を実現するのは難しいというのが実情のようです。

高齢期を元気に過ごすために!! 専門職から「インフルエンザ」

ほんとは怖い病気

「インフルエンザ」

至誠ホームアウリン「生活支援

室長 ハーマントリー美奈

3日間のうなされる高熱・節々の痛み・だるさなどに苦しんだ経験のある方も多いのではないのでしょうか。インフルエンザにはA型・B型、それにC型があります。このうちA型とB型が人間の間で流行します。流行時期は12月から3月。インフルエンザに感染すると高熱・関節痛・筋肉痛・全身のだるさなど急激に出現してくる特徴があり、私たちの身体を苦しめるのです。

そんなインフルエンザ。実はとても怖い病気なのです。持病のある方や高齢者がインフルエンザに罹ってしまうと体力を奪われ、時には肺炎を合併してしまいます。インフルエンザや肺炎が治っても体力が戻らず衰弱してしまう事があり、「死を招く病気」と言われることも……。

ですから、たとえ罹ってしまったとしても重症化させないことが大切です。

まずは日頃の手洗いやうがいが、こまめな水分摂取、ひとこみの中ではマスクの着用を心掛け、アルコール手指消毒も活用し、罹らないように予防に努めましょう。

重症化のリスクを下げるためにはインフルエンザの流行前にインフルエンザワクチンの予防接種を受けることが大切です。持病のある方やアレルギーのある方は主治医に相談してから受けるようにしましょう。

自治体や病院によって接種可能期間や費用が違いため必要の際は病院や各自治体に問い合わせみてください。インフルエンザに罹ることなくこの冬は健康で過ごせるように日頃の予防を心掛けていきましょう。





2019年度ボランティア受入 / 福祉学習協力状況
令和元年6月~7月

至誠ホーム利用者状況

Table with columns: 施設名, 事業名, 一般V, V体験, 計, 累計. Rows include various facilities like 至誠特別養護老人ホーム, 至誠ホームアウリンコ, etc.

Table with columns: 事業内容, 6月, 7月, 累計. Rows include 自主事業 (ふれあい夕ごはん事業, 利用者数, etc.), 短期入所生活介護, 通所介護, 訪問介護, 小規模多機能.

*入居施設定員
至誠特別養護老人ホーム96名、至誠ホームアウリンコ129名、至誠ホームキートス70名、
至誠ホームミナ小規模特養29名、至誠和光ホーム50名、至誠ホームスオミ・ケアハウス50名、
至誠ホームスオミ・グループホーム9名、調布若葉ケアセンターグループホーム18名、
至誠ホームミナグループホーム18名
*サービス付き高齢者向け住宅せせらぎ15戸 サービス付き高齢者向け住宅フラット「楽」7戸
*訪問介護は提供時間
*利用延日数
※ GH: グループホーム ※ 2: 自主事業

ホーム日誌

令和元年6月1日~7月31日
CH...ケアハウス、GH...グループホーム
錦...錦地区 和・和光ホーム 多...多摩川ブロック
ア...アウリンコ ス...スオミ キ...キートスグループ
国...国分寺ブロック 調...調布地区
6月
2019年度感謝のつどい
GH運営推進会議・身体拘束廃止推進委員会(調)
コーヒータイトム(国) / 給食委員会(和)
ぶらっとなみき(国) / コミカフェ / 評議員会・
理事会
19水 フロア懇談会(和) / 若葉カフェ(調)
20木 和光役員会(和)
26水 運営懇談会(ス) / 輝き観音佛法要(ア)
27木 コーヒータイトム(国)
7月
二代目理事長法要
給食委員会・ホーム委員会(至特)
4木 家族会幹事会(至特・和) / キートスマつり(キ)
6土 コーヒータイトム(国)・サマー検診(和・ス)
9火 給食委員会(和)
11木 迎え火(錦)
12金 孟蘭盆会 / 送り火
16火 若葉カフェ(調)
17水 和光役員会(和) / 運営推進会議(キートスDH、
柏DH)
20土 ぶらっとなみき(国) / ともしび法話会(至特)
24水 コミカフェ
25木 運営推進会議(国) / 和光集会(和) / 夏祭り(柏
25木 25日 / 居酒屋キートス(キ)
26金 コーヒータイトム(国) / 運営懇談会(ス)
30火 至誠福祉セミナー
全体集会(至特・和)

感謝録

温かい御支援・御協力下さいました方々に厚く
御礼申し上げます。(敬称略)
令和元年6月1日~7月31日
①金員の部
窪世つね 市川敏夫 松田紀子 形如式典(尙)
長谷見 満 梶浦善江 大橋とし江 山崎厚子
下東玲子 濱崎裕子 今井幸子 幸町団地自治会
荒井益子 社会福祉法人敬愛会あおば保育園
安本善衛 安本サヨ子 井上允恵 前田金属工業(株)

②物品の部

小山廣重 あゆみの箱 23件(延97件)
石原啓子 新開恵美子 武井則道 三井住友海上管
弦楽団 社会福祉法人東京都社会福祉協議会東京善意
銀行 末木洋子 下東玲子 上水めぐみ教会
日本建設(株)代表取締役会長長日野直行 (株)川原経営総合
センター「ふくろう会」事務局 市川敏夫
尾原昭夫 (須崎工務店 小野村一郎
マル幸小林米穀店 A D印刷(株) (株)フジタ多摩営業所
(株)アネシス 23件(延31件)

③ボランティア

①一般ボランティア(錦地区)
〔五川市〕 NPO法人立川レクリエーション協会
おはなしたまご みどりの会 立正佼成会社年部ボラ
ンティアチーム 朗読サークルこえ 鈴の会
錦六茶友会 遊木会 もみじ会 すだちの会
相庭鳩枝 赤羽根孝子 赤松富子 麻生ミエ
荒井キミ 荒井益子 安藤道子 飯田幾子
五十嵐和子 伊藤信子 井上京子 今村サユリ
岩谷淳子 梅津美和子 及川悦子 大古春子
大澤康子 太田 利 大館純子 大友真由美
小川 隆 小俣かつ江 賀田恵子 加藤典子
金井敬子 金澤シズ子 神田ミヨ 岸 幸子
木村千世子 木村玲子 蔵田郁枝 倉田雅代
五ノ井耐子 小松 滋 小松万壽子 小峰 誠
小山時子 近藤庄司 境田美夏 坂本美智子
佐々木昭治 佐藤さち 佐藤美智子 山同千賀子
篠村綾子 島岡幸子 関口鈴代 鈴木恵子
鈴木幸子 砂田かおる 関口鈴代 高山哲子
高田文彦 高田利花 高松久美子 関根哲子
武田利子 田中 暁 田中美紗子 田中由紀子
谷口富美子 寺島英子 永野和江 中村公子
中村幸子 永山幸子 西村和也 野村哈爾美
橋本早紀子 橋本ライヤ 畠山知也 坂場雛子
浜中広見 ハリス・ブルース 平澤基幸
平田道子 蛭田スエ子 藤本聰江 古林昌子
古谷文子 宝諸博文 前中光雄 水田康子
水野美鈴 村山恵美子 茂木ハマ子 山田ハル江
山本久仁子 吉川厚子 吉田千鶴子 米山勝利
若村ふみ子 渡邊綾子 渡邊薫夫 渡部調匡
〔日野市〕 クイーンマジッククラブ ウケホアヘレ
音楽のろば NaHoah Pii
石井匡代 今井幸子 岩下昭子 大浦はづき
大場春子 金尾真砂子 阪口満里子 鈴木信朗
須山ひとみ 竹内美幸 竹内 康 西垣まき子
西山寛子 蛭田美子 目黒美知子 吉崎武子
吉田克子



- 〔国分寺市〕 聖書の会 ともしび法話会 レイポニビューティーズ 都立富士森高校 都立福生高校 リラプレーカリア ア川聰子 雨宮むつ美 猪野貴美子 井上知加子 ウィットマーひろこ 内田明子 岡部恵美 小野島周平 加藤晴枝 島村正博 鈴木保明 高田和彦 長山 溪 埴 浩光 深水芳子 松下晴香 吉本利奈 和崎紗椰 延946名
- 〔他市〕 雨宮むつ美 延61名
- 〔立川市〕 一般ボランティア(オニ) マーラプア 今井佐智子 佐藤智英子 延15名
- 〔立川市〕 一般ボランティア(キートス) メゾピアノ 朗読サークルこえ 柏町隣人会 幸オカリナサークル 上水めぐみ教会 スマイル 青木融子 浅川恵子 荒井和子 池田三郎 池田静子 石川悦子 板羽多枝子 岩品和子 上野和夫 梅津美和子 岡部洋子 奥野智恵子 奥脇光子 織原良江 加賀晴子 河野美和子 菊池正勝 北瀬明子 金須礼子 紅林由美子 神山純久江 小林弥生 齋藤 博 栄田隆子 佐藤純一 佐藤初美 佐藤初美 澤田照代 三中西せい子 三中西博介 静田記代子 城 和子 白井友理恵 進藤カツエ 鈴木洋子 関根太治 高杉勝美 高橋明子 高橋征子 高橋陽子 高橋好弘 武井容子 竹内雅子 田中清子 田中秀穂 田中美智子 田邊シゲ子 谷山喜代子 鶴巻清子 寺本一俊 柿木房義 富永友里乃 鳥越幸子 中澤京子 中嶋カツ子 中根幸子 中野庸夫 中村さと子 成田 綴 西村次子 二瓶祥子 野中けい子 野矢悠子 羽村ミサ子 早坂勝子 原 静江 藤井美千代 別府ひろ子 堀 弘子 堀部晴子 本間秋子 本間和吉 松本恵美 溝口礼子 宮坂一栄 持丸弘子 森生愛子 山川和代 山口弘子 山越美津江 山崎絹江 吉岡正晶 吉村竹美 若月里美 渡辺佳子 渡会和子 小野千代 小野俊雄 風間律子 勝倉ナホミ 河村裕理 小林邦子 神宮路久枝 時枝由美子 橋本美穂 山本佳子

- 〔他市〕 ウクレレ・ホアピリ 今井紗綾 内田純子 小川早枝 奥山 豊 笠原加代子 金子節子 児玉早苗 佐伯節子 櫻井千佳子 佐々木染子 鈴木真弓 高野信子 田久保妙子 伊達美紀子 戸井田知代 富永勝人 富永允信 長谷川初子 戸 幸子 林 美保 土方和子 菱山好雄 肥田木雅子 福島央巳 保坂栄子 柳澤真紀 横川澄子 横川好行 若杉恵美子 延650名
- 〔立川市〕 一般ボランティア(相センター) 浅見富江 安部 操 飯村 睦 石橋京子 岩田綾子 植野ふじ子 黒岩三三子 黒田直子 小林正子 小林好子 篠田紀子 高橋明子 近森英子 樺沢利恵 平野富士枝 福西正弘 三上久美子 師岡恵美子 鷺沢美美 延131名
- 〔他市〕 一般ボランティア(ミンナ) 原垣内和加子 大澤早智子 熊崎 弘 熊崎咲子 佐野文子 笹谷信子 中村啓子 濱ひで子 栗原克徳 井上允恵 丸山秀雄 河野了 中川寿恵子 近藤邦憲 延94名
- 〔立川市〕 一般ボランティア(もとまち) NPO法人日本笛協会 国際文化理美容専門学校 横山交子 和田博子 菅野彰子 福田洋子 吉富晶子 萬 由美 秋山真理美 延51名
- 〔立川市〕 一般ボランティア(調布若葉) 明西寺 石橋隆二 江上芳子 益 イツ子 大村哲夫 押部忠康 狩野富枝 齊藤 孝 鈴木悦子 中澤禮吉 中島玲子 服部芳子 宮崎雅代 小泉圭石 鎌田幸光 渡会健一 木村宏子 瓦林紀子 延63名
- 〔立川市〕 一般ボランティア(調布柴崎) 佐藤すばる 尾作明子 當麻亨子 鈴木委子 松岡真由美 太田 雅 吉澤由美子 中村秀子 延32名
- 〔立川市〕 ボランティア体験 至誠保育園・桐朋高校 〔キートス〕 立教大学 延23名 〔相センター〕 なし 延3名 〔ミンナ〕 なし 〔もとまち〕 なし 〔調布若葉〕 調布市立第4中学校 延8名

福祉学習協力

令和元年6月1日～7月31日
(1) 実習研修

◎社会福祉士
大原学園 藤生弘子(13日)／立教大学 鈴木一世(12日) 計2名 延25日

◎その他
東京医療保健大学 東が丘・立川看護学部 災害看護学コース8名(各1日)／東京都立府中看護専門学校6名(各2日)／東北大学1名(7日) 計15名 延27日

(2) 体験学習(錦地区)
人事院初任者研修4名(各5日)3名(各4日)／多摩信用金庫新任職員研修6名(各2日)
幸町地区

後援会コーナー

後援会費納入者ご芳名 (敬称略・順不同)
誠に有難うございました。厚くお礼申し上げます。 令和元年6月1日～7月31日

桑原一雅 清水富男 清水真理子 高橋恵美子 若松京子 市川敏夫 金井敬子
西久保加代子 中野節子 三石和美 梶浦善江 宮本清孝 大橋とし江 山崎厚子
前田金属工業(株) 杉原メリ子 以上16名

多摩信用金庫新任職員研修6名(各2日) 計19名 延56日

(3) 見学・視察
至誠ホームストアミケアハウス入居者6名／フットケアセミナー参加者10名／立川市勉強会参加者5名／多摩南部成年後見センター12名／東京都社会福祉協議会北南ブロック栄養士15名／社会医療法人社団健全会ふれあい相互病院1名／社会福祉法人多摩養育園5名／タイ Chulalongkorn University 14名 計68名 累計121名

映画『ケアニン〜あなたでよかった〜』上映会のお知らせ

立川市内の高齢者福祉施設等で組織する「立川市高齢者福祉施設会」が、介護の仕事の魅力伝えるためにお届けする上映会です。

ケアニンは、介護・看護・リハビリなど、人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いている人のことです。主人公の介護福祉士の成長する姿を通して、人と命に向き合うことの尊さを描くという、まさに「介護の仕事」の魅力にスポットを当てた映画です。

至誠ホームもこの映画の制作に協力した経緯があり、協賛団体となっております。小中学生から高齢の方まで、幅広い世代の方に鑑賞いただける内容です。

介護の仕事に興味のある方や現在どなたかを介護しているという方ももちろん、介護のことをあまり知らないという方も、ぜひお気軽にお申込み下さい。



日時 令和元年11月2日(出) 14時～16時13時30分開場

場所 たましんRISURUホール (立川市市民会館) 小ホール

参加費 無料

定員 150名(申込み順)

申込み 電話にて至誠ホームキートス (042-5338-2323) まで



地域包括支援センターコーナー	
立川市北部中さいわい地域包括支援センター	042(538)2339
立川市にしき福祉相談センター	042(527)0321
国分寺地域包括支援センターもとまち	042(301)5001
国分寺地域包括支援センターなみき	042(300)3702
国分寺地域包括支援センターほんだ	042(300)2339
調布市地域包括支援センター至誠しばさき	042(488)1300

『認知症地域支援推進員』 というお仕事

皆さんご存知だと思いますが、日本は超高齢化社会で高齢者人口が増加しています。介護保険認定を受けている認知症高齢者数は、2016年は41万人でしたが、2025年には56万人（1.4倍）になると試算もあります。認定を受けていない方を踏まえると潜在的にはもっと多いと言われています。その方々の生活の場所ですが、実是在宅が6割、医療機関と介護施設がそれぞれ約2割で、半数以上の方が皆さんのそばで生活している実態があります。

国も対応策の一つとして、新オレンジプラン（2015年公表）に認知症地域支援推進員という役割の仕事が示されました。では、どんな役割でしょうか？少しご紹介いたします。

①医療・介護等の支援ネットワーク構築。
孤立しないように色々な人々と繋がるの橋渡しや認知症ケアの流れ（ケアパス）等を知って安心してもらう事が

調布市地域包括支援センター
至誠しばさき
認知症地域支援推進員
柴 元之

②支援が困難な方の支援サポートや効果的な介護方法等の専門相談支援、認知症力フ開設等の支援や認知症サポート研修などの啓発活動等もあります。
最近はその当事者の社会参加、地域活動参加等の支援も行っています。当事者だけでなく、家族や介護職員向けに専門家の派遣や技術知識の指導助言などもあります。

③認知症を発症した方、家族の相談支援や必要なサービスの調整助言も行います。

また、昨年度より全国自治体に設置された、認知症初期集中支援チームにも多くの認知症地域支援推進員がチーム員として活躍をしています。

「認知症の人の意思が尊重され、出来る限り住み慣れた地域の良い環境で暮らし続けることが出来る社会」に繋ぐ橋渡しというお仕事です。

『公益財団法人特別区協議会』 ご寄附による空気清浄機購入の御礼

至誠和光ホーム 園長
中川 謙夫

令和元年6月、東京都社会福祉協議会善意銀行助成事業を通じて、公益財団法人特別区協議会様よりご寄附を賜り空気清浄機6台を購入させて頂きました。

開設55年を過ぎた至誠和光ホームは建物の老朽化に関する課題や時代とともに変化していく入居者の生活スタイルに関する課題などがあり、住環境のあり方については施設レベルでも入居者個人レベルでも、常に見直しを必要としております。その中でも衛生環境改善は重要な事項として含まれており、入居者自治会と職員とで協議を重ね様々な取り組みを行っております。

そのような中でこの度のご支援を賜ることができ、入居者・職員一同日々の取り組みを行う上で大きな励みとなりました。厚く御礼を申し上げます。



入居者自治会役員の皆様とご寄附いただいた空気清浄機

至誠まつり・バザー案内

児童・保育・高齢
各事業本部合同

■日程／令和元年10月19日(土)
10時～14時

■場所／至誠ホーム敷地内
(立川市錦町6-28-15) 雨天決行

◎新品の衣料品・雑貨・手作り作品販売など
◎模擬店・協力出店の皆様による販売など
合同事業ならではの企画が多数出店します。
お楽しみにどうぞ！

『ご贈品のご協力をお願いします。』
ご寄贈品は毎日受け付けておりますので、お届け頂ければ幸いです。（お引き取りはご容赦お願い致します）

受付期間 10月11日(金)まで
お問い合わせ 電話042-527-0031
担当／佐藤（至誠ホームスオミ・ケアハウス）

第6回至誠ホーム調布まつり

■日程／令和元年11月17日(日)
10時30分～14時

■場所／至誠ホーム
調布若葉ケアセンター

雨天決行（調布市若葉町3-1-15）

◎内容 模擬店・手作り作品・フリーマーケット
大道芸・お遊びコーナーなど

◎他にも楽しい企画を準備しております。
大勢の方のご来場をお待ちしております。

お問い合わせ 電話03-3326-7600
担当／鈴木孝雄（至誠ホーム調布若葉）